

ステークホルダーから信頼される 企業グループを目指して

基本的な考え方

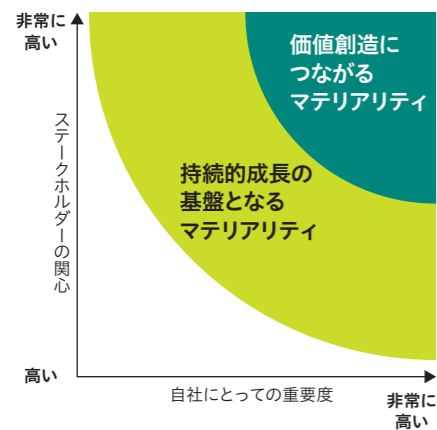
- サワイグループにとって、「健全な社会の存在とその持続的(サステナブル)な発展」こそがその存立の基盤である。
- 「持続可能な社会の実現」のために、サワイグループが必要な存在(=「社会の公器」)であると認められ、かつ、サワイグループがすべてのステークホルダーとの間でしっかりと信頼関係を継続できてこそ、サワイグループのサステナビリティが実現できる。
- 社会は絶えず変化するものであり、サワイグループも社会の変化に即応して絶え間ない進化を遂げることで、サステナブルな存在であり続けることができる。

基本方針

- 「なによりも健やかな暮らしのために」という企業理念のもと、事業そのものを通じて、人々の健やかな暮らしと優れた医療制度等の維持・発展に貢献することで、サステナブルな社会実現の一翼を担うこと。
- 患者さん・生活者、医療機関等ヘルスケア従事者、取引先、社員、株主、地域社会、地球環境など、すべてのステークホルダーとの継続的なエンゲージメント(相互信頼に基づく絆の構築)に努めること。
- サワイグループがサステナブルな存在であり続けるために、創造性を追求し、社会とともに絶え間ない進化を遂げること。

マテリアリティ (2022年5月策定)

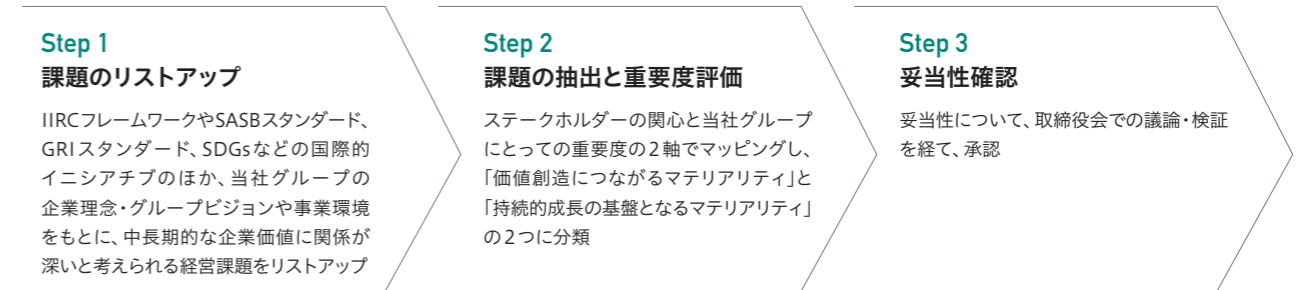
当社グループが継続的な企業価値の向上を実現するためには、社会全体の持続性を考慮した事業活動が必要不可欠という考えのもと、「ステークホルダーの関心」と「自社にとっての重要度」の2つの観点から、優先して取り組むべきマテリアリティ(重要課題)を特定しています。



価値創造につながるマテリアリティ	
医療アクセスの向上	製品の品質・安全性 安定供給 充実した情報提供
医療財政への貢献	付加価値の高いジェネリック医薬品開発
健康寿命延伸への貢献	未病・予防を含むより広いヘルスケア領域に事業拡大
人財育成	経営人財の育成
持続的成長の基盤となるマテリアリティ	
環境に配慮した事業	気候変動への対応 リサイクル推進・廃棄物の抑制 水の使用削減 生物多様性
働き方・働きがい・人権尊重	ワークライフバランスの実現 安全で衛生的な職場環境の実現 ダイバーシティの推進
コーポレート・ガバナンス	リスクマネジメント・コンプライアンスの強化 ステークホルダーエンゲージメント/贈収賄・腐敗防止/ サプライチェーンマネジメント/公正・透明な取引の推進/ 情報セキュリティの強化

マテリアリティの特定プロセス

当社グループのマテリアリティは、下記のステップを経て特定しました。マテリアリティは、事業環境の変化や新たな社会課題の登場を考慮する必要があるため、定期的に見直し妥当性を確認するとともに、中長期的な観点から3年に1度程度のタイミングで見直すことにしています。



機会・リスクとその対応策

	リスク	機会	対応策
ジェネリック医薬品事業	● 毎年薬価改定等による薬価引き下げ ● ジェネリック医薬品全体の信頼低下 ● AGの発売増 ● 為替やインフレによる原薬・資材コスト増	● 高齢化の進行による需要拡大 ● ヘルスケア・医療ニーズの多様化・高度化 ● 薬価制度見直しの動き ● ジェネリック医薬品業界の再編機運	● 長期安定供給が可能な制度への働きかけ ● 責任ある企業群への転換を促す取り組み ● さらなる原価低減への努力
デジタル医療機器事業	● 開発の遅延やビジネスモデル上の課題の発生 ● 経験不足による想定外の安全性や品質問題の発生	● 新たな治療手段提供による受診率や治療率の向上 ● 薬剤治療に不適合な患者さんへの新規治療のオプション提供	● KOL*や関連学会との密接な連携 ● 医療機器に精通するExpertとの協働
健康食品事業	● 継続的な他アプリとの差別化 ● 利用拡大に伴う社内体制の整備遅れ ● 海外IT企業の医療サービスへの参入	● 標準的治療として確立され、受診率、診断率と治療率の向上 ● 未病・予防領域でのプレゼンス確立 ● Well-Beingな社会実現への貢献 ● アジア等の海外でのサービス展開	● DTx*に精通する企業・団体との連携 ● KOL*・関連学会のニーズの取り込み
希少疾患新薬事業	● さらなる競争の激化 ● 法改正による広告規制強化・制度変更 ● 知識や経験不足による安全性や品質問題の発生	● 臨床試験の遅延や失敗 ● 新たな治療オプション提供による市場拡大 ● GE事業で培った研究開発力	● 予防疾患領域とそれを支える機能拡充 ● DX人材の確保 ● パートナーとの協業によるサービス展開
			● 精緻なマーケティング戦略や販売計画の策定によるターゲットの明確化 ● 専門知識・経験を有する人材の採用
			● 十分なリソースと計画の柔軟性を持つ

* キー・オピニオン・リーダーの略。特定分野で影響力を持つ専門家

サステナビリティ推進体制

サワイグループホールディングスの代表取締役社長が委員長を務めるグループサステナビリティ委員会のもと、取り組みを推進しています。実務的な取り組みを行うため、委員会の下部組織として設置された推進チームは、E(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)の3チームに分かれて活動しています。

事務局は、委員会の補佐やサステナビリティに関する情報発信、推進チームの支援を担っています。

